

レ・コード館  
再・発・見  
「町民ホール」

最後に、曾我施設管理係長に「町民ホール」を案内していただきました。ここは、一年を通じて高い稼働率となっており、この日もにぎやかな楽器の音色が聞こえてきていました。



ホールに入ると、新冠中学校吹奏楽部がコンクールに向けた練習をしていました。ステージ下に平台を組み、本番同様の状況で、最後の練習をしていました。レ・コード館では、近年定期的に吹奏楽やジャズの演奏会が開かれるようになり、町民の皆さんも音楽が身近に感じられるようになってきたのではないのでしょうか。



続いて、昨年度購入した「スタインウェイ&サンズ」のグランドピアノを見せていただきました。このピアノは、世界最高峰のピアノと言われ、世界中のコンサートホールで使用されているそうです。レ・コード館で開かれるピアノ教室の発表会ではこのピアノが使用されるとのことです。子ども達もこの特別なピアノで演奏をすることができます。



最後に、ステージ上部の「キャットウォーク」を案内していただきました。ステージ上部に通じるキヤットウォークは、足がすくむくらい高い場所でしたが、緞帳や色々な種類の幕、スクリーンや照明機材が並んでおり、ステージの仕組みを知ることができました。

皆さんは、町民ホールの客席でお気に入りの場所がありますか？曾我係長によると、階段席の前から4〜5列目は、ステージの演奏者と同じ高さになり、音も聞こえやすいとのことでした。



レ・コード館には、ほかにもシアターや研修室、和室、リハーサル室などがあり、演奏会や講演会、合唱や踊りなどの文化サークルの活動が行われています。詳しい事業案内は、月末に配布する生涯学習情報誌「まなぼと」をご覧ください。次号の特集記事では、レ・コード館で活動するサークルやこれまでの生涯学習事業の取り組みなどについてご紹介します。

レ・コード館  
再・発・見  
「図書プラザ」

続いて、「図書プラザ」にやって来ました。この日は、夏休み特別企画として「子ども日司書体験」が行われていたことから、小さな図書司書たちに図書プラザの中を案内していただきました。



人気のコーナーの一つが「新聞と雑誌のコーナー」で、新聞は9種類、雑誌は約70種類の最新号をそろえています。雑誌のバックナンバーについては貸し出しも可能です。



定期購読している新聞・雑誌  
新聞：北海道新聞（朝刊・夕刊）  
苫小牧民報、道新スポーツ  
日本農業新聞、日高報知新聞  
毎日新聞、朝日新聞、読売新聞  
日本経済新聞  
雑誌：クオリティ、婦人公論、現代農業  
乗馬ライフ、競馬四季報、山と溪谷  
Number、Tarzan、ゴルフダイジェスト  
暮らしの手帖、オレンジページ、スロウ  
音楽の友、趣味の園芸（他多数）



小さなお子さんへの利用に好評なのが、「おはなしのへや」です。靴を脱いで座ることができ、個室になっているので周りが気になりません。サークル「むぎのめ」さんが制作した布の絵本もここで見ることもできます。

スタッフがおすすめの場所は、窓際の読書コーナーです。集中して読書や勉強ができるので好評です。



夏休みの自由研究がまだ決まっていない…そんな人は、特別展示コーナーに来てください。自由研究のアイデアがたくさん詰まった本が並んでいますよ！図書プラザでは、時期に合わせて特別展示を行っています。

新冠の図書プラザならではのポイントには、音楽図書や雑誌が充実していることです。音楽図書館協議会との連携により、いつも最新の音楽雑誌を閲覧することができます。

